

8月 定例教育委員会 議事日程

1. 日 時 平成27年8月24日（月）午後1時30分から

2. 会 場 教育委員会会議室

3. 出席委員

教育委員長	矢 野 ひとみ
教育委員	鷹 尾 秀 隆
教育委員	高 橋 久美子
教育委員	水 口 良 江
教育長	渡 邊 博 隆

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	靄 岡 正 直
教育総務課長	大 西 昌 治
社会教育課長	森 田 誠 司
指導主幹	紺 田 順 一
指導主事	久保田 貴 章
学校教育課課長補佐	皆 川 竜 男
社会教育課課長補佐	安 田 敦
教育総務課課長補佐	小 田 忠 幸

5. 会議に付した事件

(1) 議案審議

議案第36号 平成28年度使用中学校教科用図書の採択について

(2) 報告事項等

- ① 6月会議録報告
- ② 9月教育委員会行事予定について
- ③ 事務局報告事項等について
- ④ その他

午後1時30分 開会

○鶴岡局長 開会を宣言

○矢野委員長 それでは、8月の定例教育委員会を始めたいと思います。今日は大きな案件がありますので、スムーズに進めたいと思いますので、私の挨拶は省略ということで行きます。

まず、本日の委員会開催に当たりまして7名の傍聴の要望がございましたので、伊予市教育委員会傍聴人規則第1条の規定に基づき、私が許可をしましたので、御報告申し上げます。

なお、傍聴人は、伊予市教育委員会傍聴人規則第3条に規定している行為をした場合は退場を命じることがありますので、御注意ください。よろしく申し上げます。

今日の会議録の署名人のほう、高橋委員さんのほうになります。

○高橋委員 はい。

○矢野委員長 お願いいたします。

次に、6月の会議録の報告でございますが、各委員さん方のほうに事前にお配りしているもので御承認いただけますでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 全員承認ということで承認されました。

それでは、協議事項に移ります。

議案審議、議案第36号平成28年度使用中学校教科用図書の採択について事務局に説明を求めます。

○紺田指導主幹 委員長。

○矢野委員長 紺田先生、お願いします。

○紺田指導主幹 はい、失礼します。

それでは、議案書の1ページをごらんください。

平成28年度使用中学校教科用図書の採択について教育委員会の議決を求めたいと思います。

提案理由といたしまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号により、平成28年度使用中学校教科用図書について採択する必要が生じたので、提案をいたしました。

それでは、伊予市教科用図書調査委員会の調査研究結果に基づき、説明をいたします。

今回、調査研究を行った教科書は文部科学省の検定をっておりますので、どの教科書も採択するにふさわしい教科書になっております。その中で、各教科書の特徴的な事項を説明させていただきますので、後ほど御審議をよろしく願いいたします。

国語教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

委員さん方から、意見等ございませんでしょうか。

ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは国語科の教科書は光村図書の「国語」に決定しました。

それでは続けて、書写のほう、お願いします。

○紺田指導主幹 書写教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

書写について、委員さん方から。

はい、渡邊教育長さん。

○渡邊教育長 はい。調査委員会の委員さんの御意見で、教育出版の本について、指導者も指導しやすいし、しかも学習者も学習がしやすい教科書ではなかろうか、そういうふうな御意見も出ておりました。ここの中には書かれておりませんが、そういうふうな御意見があって、第一に推されたようなところだというふうに思っております。

○矢野委員長 ありがとうございます。現場の先生方の声を伝えていただきました。

委員さん方、何か御意見ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、書写の教科書は教育出版の「中学書写」に決定いたしました。

次に、社会科の地理の分野に進みます。説明を求めます。

○紺田指導主幹 社会科地理的分野教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

委員さん方、何か御意見等ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは全員、異議なし、意見なしということで、帝国書院の「中学生の地理」に決定いたしました。

それでは続けて、社会科の歴史的分野について説明を求めます。

○紺田指導主幹 社会科歴史的分野教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

社会科の歴史的分野についての説明がありました。委員さん方、御意見等ございませんでしょうか。

○高橋委員 よろしいですか。

○矢野委員長 はい、高橋委員さん。

○高橋委員 推薦されている東京書籍の「新しい社会 歴史」のその理由として、愛媛県に関連の深い事項というのがありますが、これは、ほかの県になると、その県の特色的なことが載せられる、各県版としてつくられているものなんでしょうか。それとも、全国共通で愛媛県のこの事項が大きく取り上げられているということなんでしょうか。

○紺田指導主幹 ちょっと、それについては十分なお答えができません。

○高橋委員 そのお答えがわからないので何とも言えないんですが、私個人の意見としては、

地域のことをすごく取り上げていただけるというのは、子供たちが自分の地域に誇りを持ったり、いろんなことを知る上で非常に大切なことですから、これを教科書の中にたくさん取り上げていただいているというのは、非常に私は大きなポイントであるかと思います。が、その一方で、日本全体の長い歴史の中で、それがどれほど大きなものなのかっていうことだけを考えたときに、わからなくなってしまうかもしれない可能性があるのです。採択に関してということではないんですが、これを使うときに、また先生方が補足していただいたり、全体としてはどうなのかということも言って、使っていただけるといいなというふうに感じました。

○矢野委員長 そしたら、採択の、会社についてはいかがですか。

○高橋委員 賛成いたします。

○矢野委員長 採択のほうに賛成ということですね。

○高橋委員 はい。

○矢野委員長 指導する内容についてというふうな御意見がありました。

ほかの委員さん方、御意見等ございませんでしょうか。

鷹尾委員さん、よろしいですか。

○鷹尾委員 はい、私はこれで結構です。

○矢野委員長 委員さん方、何か御意見等ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは歴史的分野については東京書籍の「新しい社会 歴史」に決定いたしました。

それでは続けて、公民的分野に移りたいと思います。説明を求めます。

○紺田指導主幹 社会科公民的分野教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

委員さん方、何か御意見等ございませんでしょうか。

○渡邊教育長 委員長。

○矢野委員長 はい、渡邊教育長さん。

○渡邊教育長 今の日本文教出版の中の、Dの学習指導への配慮のところ、公民プラスアルファというふうな形で書かれておりましたが、調査委員の方にお尋ねしますと、このプラスアルファという捉え方自体、表記的に皆さんにわかりにくいんじゃないかというふうな御意見もありましたが、内容の程度のところ書いてありますけれども、社会参画ができるような配慮、取り組みが見られることが、プラスアルファとして表記したいというふうな御意見がございました。そういうふうな意味合いからも、学習指導への配慮が、よりなされておるんじゃないかというふうな意見もございましたので、お知らせしておいたと思います。

○矢野委員長 ありがとうございます。プラスアルファについての説明をしてくださいました。

公民的分野について、何か御意見はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、なしということで、日本文教出版の「中学社会 公民的分野」に決定いたしました。

それでは続けて、地図に行きたいと思います。

○紺田指導主幹 地図教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

地図帳については2社ということで説明をいただきました。委員さん方、何か御意見等ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは全員意見、質問なしということで、地図帳は帝国書院の「中学校社会科学地図」に決定いたしました。

続けて、数学をお願いします。

○紺田指導主幹 数学教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

7社について説明がありました。委員さん方、何か御意見はございませんでしょうか。

はい、渡邊教育長さん。

○渡邊教育長 調査委員会等での話をつけ足しさせていただきたいと思います。今の啓林館の学習指導への配慮の中に、別冊というふうな形で、今、主幹のほうから説明がありましたけれども、今回、非常に啓林館の別冊を調査委員の方々が大変歓迎しておりました。ここにも書かれておりますように、「別冊を効果的に利用することで」ということで、いわゆる学びの段階で、予習にも使えるし、しかも授業の導入にも使える。それから、数学はいわゆる、いろんな形でのつまずきが生じる生徒もいるわけなんですけれども、つまずいている生徒には、その別冊を利用して振り返りをさせながら学習することも、この別冊利用からいうたら、できるんじゃないかというふうな御意見があり、総合的に判断して、啓林館を推薦しておりますというふうな意見でございました。

○矢野委員長 ありがとうございます。

調査委員会の説明もあわせて御判断ください。

啓林館で御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、数学は啓林館の「未来へひろがる数学」に決定しました。

続けて、理科の説明をお願いします。

○紺田指導主幹 理科教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

理科についての説明でした。委員さん方、何か御意見等ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、理科の教科書は東京書籍の「新しい科学」に決定しました。

続きまして、音楽の一般のほう、説明をお願いします。

○紺田指導主幹 音楽（一般）教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 音楽一般についての説明がありました。

2社なので、より使いやすいか、より指導しやすいかという観点で検討したということの説明がありました。

御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、意見なしということで、音楽科一般のほうは教育出版「中学音楽・音楽のおくりもの」に決定しました。

それでは続きまして、音楽科の器楽のほうの説明を求めます。

○紺田指導主幹 音楽（器楽）教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

2社についての説明がありました。

委員さん方、何か御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 そうしたら、全ての委員さん、意見なしということで、器楽合奏の本は教育芸術社「中学生の器楽」に決定いたしました。

続けて、美術の説明をお願いします。

○紺田指導主幹 美術教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

美術についての説明がありました。

委員さん方、御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、全員意見なしということで、美術については光村図書の「美術」に決定しました。

続きまして、保健体育科のほうの説明をお願いします。

○紺田指導主幹 保健体育科教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

保健体育科について、御意見等ございませんでしょうか。

○渡邊教育長 はい。

○矢野委員長 渡邊教育長。

○渡邊教育長 学研の教科書で、特に調査委員の人が言われたのは、やはりその発達段階でその学年だけという形じゃなしに、総合所見にも書かれておりますが、小・中・高を通じた系統性が図られる、そういうふうな取り組みのできる教科書を採択してほしいというふうな御意見もございました。そういうような意味合いで、1位に学研が出たというふうに思っております。

以上です。

○矢野委員長 調査委員会における先生方の御意見を説明していただきました。それも一緒に考慮に入れて選定していきたいと思えます。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、保健体育科のほうは、学研の「中学保健体育」に決定しました。

続きまして、技術・家庭「技術分野」について説明をお願いします。

○紺田指導主幹 技術教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

技術分野についての説明がありました。

委員さん方、何か御意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、意見なしということで、技術分野は開隆堂の「技術・家庭『技術分野』」に決定いたしました。

それでは、家庭分野について説明をお願いします。

○紺田指導主幹 家庭分野教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

家庭分野についての説明がありました。

委員さん方、意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 委員さん方、意見なしということで、家庭分野は東京書籍の「新訂新しい技術・家庭（家庭分野）」に決定いたしました。

それでは続きまして、英語科のほうの説明を求めます。

○紺田指導主幹 英語教科書について、説明を行う。

○矢野委員長 ありがとうございます。

英語について説明をしていただきました。

御意見等ございませんでしょうか。

○渡邊教育長 はい。

○矢野委員長 渡邊教育長。

○渡邊教育長 私自身も英語科でないのだからわかりませんが、調査委員の先生方は、

やはり伊予地区の子供たちのために教科書を採択して欲しいというような意図がございまして、Dの内容で受動態を2年生で学習するので、3年生での学習内容の負担が軽減されるというふうな内容、程度のところに書かれておりますけれども、この内容が伊予地区の実態に合っているというようなことを言うておりました。そのあたりは具体的にどういうふうな意味合いかというのは、私自身がわからないんですけれども。

それと、総合所見で開隆堂さんのほうの、全ての生徒に基礎・基本が身につく活動が工夫されているというのが、英語科もやはり学力差が出てくるわけなんですけれども、下位の者がやはり学習に取り組みやすいというふうな意味合いですというふうな説明もございまして、そういうふうな意味合いから開隆堂さんがこの伊予地区、伊予市の子供たちには、よりいいのかなというふうな意味合いで取り上げられたと思っております。

以上です。

○矢野委員長 ありがとうございます。

さっきのお話等もあわせて御検討ください。

御意見ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 それでは、英語科は開隆堂さんの「SUNSHINE」ですかね。

○紺田指導主幹 「SUNSHINE」です。

○矢野委員長 「SUNSHINE」に決定いたしました。

以上で採択教科書の審議を終わりたいと思います。

審議の結果について、事務局に確認を求めます。お願いします。

○紺田指導主幹 それでは、採択教科書について確認をいたします。

国語、光村図書。書写、教育出版。社会（地理的分野）、帝国書院。（歴史的分野）、東京書籍。（公民的分野）、日本文教出版。地図、帝国書院。数学、啓林館。理科、東京書籍。音楽一般、教育出版。音楽器楽合奏、教育芸術社。美術、光村図書。保健体育、学研。技術・家庭（技術分野）、開隆堂。（家庭分野）、東京書籍。英語、開隆堂。

以上です。

○矢野委員長 ありがとうございます。

それでは、伊予市の教育委員会では、今確認したとおり、平成28年度の中学校における各教科の教科書を採択することに決定いたしました。

それでは、しばらく休憩といたします。

～ 休憩 ～

○矢野委員長 再開いたします。報告事項等に移ります。

9月教育委員会行事予定について、説明をお願いします。

○久保田指導主事 学校教育課、学校関係の主な行事について説明を行った。

○矢野委員長 社会教育課のほうお願いします。

○安田課長補佐 社会教育課の行事について説明を行った。

○矢野委員長 ありがとうございます。

続きまして、2学期の行事予定について説明をお願いします。

○久保田指導主事 2学期の行事予定について説明を行った。

○矢野委員長 ありがとうございます。

委員さん方、意見等ございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 ございませんようでしたら、その他に移りたいと思います。

その他、何かありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○矢野委員長 特にその他のほうもないようですので、終わります。

○鶴岡局長 閉会を宣言

午後3時6分 閉会